

パネルディスカッション — 裁判員経験者をお招きして —

11/3（祝・水）、大津地方裁判所において、裁判員制度に対する疑問や不安を解消し、裁判員への参加意欲を高めていただくことを目的に裁判員経験者及び法曹三者によるパネルディスカッション等を実施しました。

第一部：裁判員選任手続体験

事前に行事への参加者には、実際の裁判員候補者にお送りする選任手続期日のお知らせに見立てた参加案内をお送りしました。行事当日は、裁判員選任手続と同様の受付や第二部で行われる模擬裁判の裁判員候補者役として質問票の作成等を体験していただきました。



第二部：模擬裁判・パネルディスカッション

実際に裁判員裁判が行われる法廷へ移動し、架空の放火事件についての模擬裁判（冒頭手続部分）を見学していただきました。

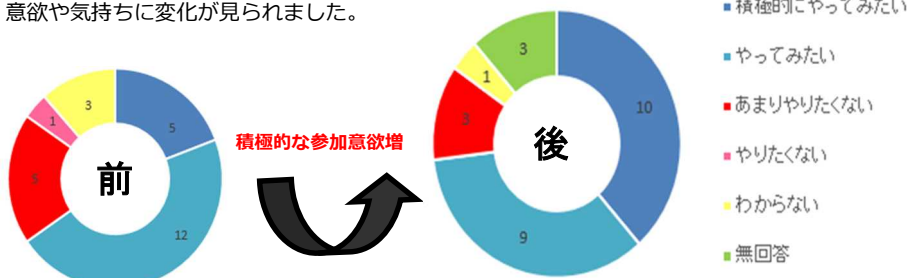
その後は、裁判員経験者4名と法曹三者（裁判官、検察官、弁護士各1名）のパネルディスカッションをご覧いただきました。裁判員に選ばれたときの気持ちや務め終わっての感想等につき、裁判員経験者の生の声をお聞きいただきました。



行事の合間には、法服の着用や検察官・弁護士とお話しをする時間もありました。

* 裁判員裁判への参加意欲について - 行事参加者のアンケートより *

行事参加前後で、裁判員裁判に参加する意欲や気持ちに変化が見られました。



行事には大学生も含めて幅広い年齢層から、27名にご参加いただきました

参加者の方からは、「本行事に参加し、裁判所を身近に感じられた。」「普段抱いている疑問が解消された。」「一般人の意見も積極的に取り入れられていると感じた。」等の感想をいただきました。